

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン

2023年度第4回理事会議事録

1. 日 時 :2023年12月17日(日)10:05~11:06
2. 場 所 :大阪市北区豊崎3-20-1インターブルビル6階会議室 ZoomにてWeb会議
3. 出席者
 - (1) 本人出席者 7名 大橋健、水野勝教、今井俊二、島谷太、森重智年、松山森仁、田中宏明(監事)
 - (2) 欠 席 者 4名 中島晃芳、野村泰朗、政岡恵太朗、瀧本英智
 - (3) 事 務 局 3名 前田正久(事務局長)、浅沼まり、休場万喜
4. 議 事
 1. ジャパンオープン2024について
 2. ジャパンオープン2025について
 3. その他
5. 資 料 無し
6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本理事会は、定款第33条に規定する定足数に達し、理事会が成立していることを報告した。

(2) ジャパンオープン2024について

①大橋代表理事より、実行委員会を中心に作業を進め、開催委員会でも予算の審議をしており、まもなく決議される見込みであるとの報告がなされた。ジャパンオープン2024の参加費について審議を求めた。2023年の開催要項と大きく違う点は無いが、会場費用は上っている。参加者のことを考えると、参加費値上げは難しいのではないか。水野専務理事より、昨年と同額でいいのではないかとの意見がなされた。松山理事より、RCJJの負担金に変更はあるのかとの問に対し、水野専務理事より基本的には同額との回答がなされた。2024年の参加費について、2023年と同額で反対意見も無く、満場一致で承認がなされた。

②水野専務理事より、サッカーのフィールド数について確認がなされた。松山理事より、昨年の11フィールドに加え、名古屋市科学館のご協力により1フィールドお借りして、12フィールドで当初の予定通りの参加チーム数を受入れられる見込みである。練習用コートは3つ確保できたとの説明がなされた。

③大橋代表理事より、交流会開催について意見が求められた。水野専務理事より、以前と同様に会場内での開催とするのか。また、同時間帯に総会があるため、理事以外の方に交流会を取りまとめて頂く必要があるのではないかとの意見がなされた。松山理事より、場所と軽食を提供しただけでは、交流会を開催する意味がないので、OBにロボットの実演をしてもらう等の企画が必要との意見がなされた。前田事務局長より、必ずしも全員の理事が総会に参加しなければならない訳ではないので、理事から1人でも責任者として交流会に参加してはどうか。森重理事より、RCJJとしては開催場所、費用面がクリアになるならば、企画および当日の運営を担当してくれる人を募集し、競技担当理事以外の理事に担当してもらってはどうかとの意見がなされた。水野専務理事より、野村理事と瀧本理事にお願いしてはどうかとの意見がなされた。大橋代表理事より、大会経験豊富な野村理事と若手でOBの瀧本理事に担当頂くのは良案だと思うので、お二方に打診し、交流会は場所を調整し開催する方向で進めることとなった。

④水野専務理事より、12月末締切りの大会情報の登録をしていないブロックが多数あるので、再確認のメールと各競技担当理事からも催促頂くようお願いがなされた。

⑤森重理事より、海外チームの受け入れについて、昨年同様の予定で行われるのか、技術委員への受入れ枠の確認があるので、ブログで早期に告知するよう要望がなされた。

⑥松山理事より、全体のエントリースケジュールについて、サッカーでは事前提出資料があるので、エントリーの締切りを前回よりも1週間程度早くして欲しいとの要望がなされた。水野専務理事より、1月中旬に枠の決定、2月末のエントリー締切りでスケジュールを進めて行くとの確認がなされた。

⑦島谷理事より、スタッフ交通費補助について総会でも意見があつたが、決算が確定後に改めて提案する旨報告がなされた。また、交流会の軽食費についても同様に検討することになった。

⑧大橋代表理事より、各リーグでの変更点の確認がなされた。松山理事より、サッカーリーグでは採点方法に見直しはあるが、運営、構成、バッテリー関連に変更はないとの報告がなされた。森重理事より、レスキューではルールの一部変更とフィールドの改修はあるが、大きな変更はないとの報告がなされた。

(3) ジャパンオープン2025について

大橋代表理事より、名古屋市には3年計画で大会を開催予定だったが、新型コロナの影響で2年連続大会中止となった。当初の予定を引き継ぐ形で、RCJJからの要望で2025年も名古屋市で開催する予定。日程について、2025年3月21日～23日はすでに会場の予約が入っており、28日～30日の日程で検討を進めることについて確認がなされた。松山理事より、21日～23日は学校の終了式と重なるため、28の方が都合がいいのではないかとの意見がなされた。2025年大会も場所、日程、予算も同規模で進めていくとの提案について、満場一致で承認がなされた。

(4) その他

① 大橋代表理事より、次の理事会では決算報告と予算案が議題になるが、予算について要望があるか確認がなされた。

・水野専務理事より、理事にRegional Repに参加してもらう場合、渡航費は現状個人負担となっており、来年の世界大会はオランダ大会のため費用負担も大きくなるので、渡航費補助を予算に組んで欲しいとの要望がなされた。また、フィールドの改修費を開催委員会に負担してもらうことは難しいため、予算項目にフィールド改修費を追加して欲しいとの要望がなされた。

・松山理事より、Webページのデザインが古いのでデザインの刷新、可読性の高いCMSを導入する等、Webページ改修の予算枠を追加して欲しいとの要望がなされた。田中監事より、競技者の裾野を広げるためには、Webページの刷新は必要との意見がなされた。島谷理事より、余剰金があれば予算を組む、または広報費として積立金を入れる方法もあるが、初期費用以外にメンテナンス費も必要になってくるとの意見がなされた。Webページをリニューアルするとなれば今井理事が中心となって作業して頂き、松山理事がメンテナンスを行うことは可能かとの確認がなされた。

② 森重理事より、RCAPについてはこれまでRCJJからは積極的なアプローチは無かったと理解しているが、今月の韓国大会にはサッカー、レスキューMazeとCoSpaceから参加チームがあった。今後はRCJJとして何かフォローする必要はあるかとの確認がなされた。水野専務理事より、これまで開催情報は、国際ブログを通じて発信してきた。韓国大会は、日本のノード、ブロック大会の時期と重なり、参加チームが少なかったと聞いている。RCAPは開催国の都合もあり開催時期が一定ではなく、開催地によっては渡航制限が出ている国もある。また、日本委員会が連絡窓口でありRCJJからはスタッフの派遣もなく、積極的に関与していくのは難しいとの意見がなされた。森重理事より、競技指針にもRCAPへの推薦について明記はなく、情報共有のみで自由参加であることをアナウンスしてはどうかとの意見がなされた。大橋代表理事より、愛知でRCAPを開催した時は、RCJJに協力要請があったので運営にも参加したが、水野専務理事が前述したとおり、渡航制限の問題もある。国際ブログにはRCJJの推薦なく参加でき、各自の判断で渡航するよう明記されている。これについて、事務局に問合せはあるかとの問い合わせに対し、問い合わせは無いとの回答がなされた。前田事務局長より、前高橋代表理事の時にRCAPは設立され、RCJJの協力が必要か問い合わせたこともあったが、特に協力要請はなかった。今後もRCJJからの選手の推薦はしないで自由参加でいいのではとの意見がなされた。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2023年12月17日

議長 大橋 健



理事 水野 勝教



同 今井 俊二



同 島谷 太



同 森重 智年



同 松山 森仁



監事 田中 宏明

